

# 多摩川上流域の現状と課題





白丸ダム



羽村取水堰



小作取水堰



第一発電所



多摩第三発電所



氷川発電所



小河内ダム





# 観光放水の目的

「溪谷美」と「観光施設の維持」



夕方～翌朝まで  
観光放水がストップ!  
水位変位の跡が残る  
景観が悪い



河川では  
約40cmの水位上昇  
→浮き輪やサンダルが  
流される被害

## ＜朝8時の御岳付近の状態＞





## ＜朝11時の御岳付近の状態＞



岩が  
見えない

## 観光放水による水位の増減が毎日実施

東京都と奥多摩町において昭和34年に締結された協定

放水期間	放水時間	放水量
3/20～6/30	9時～17時	毎秒 <b>5t</b>
7/ 1～ 8/31	7時～19時	毎秒 <b>5.2t</b>
9/1～11/23	9時～17時	毎秒 <b>5t</b>
上記を除く期間 又は 時間		毎秒 <b>1.1t</b>

**66年間変化なし**

**▶見直しを求める声多数**



2019年10月12日

# 台風19号



台風前



台風後

駐車場へつながる通路は見る影もない。



台風前



台風後



倉庫の破壊状況からも相当な水圧が掛かった事が伺える

## 御岳小橋



本流の水圧をまともに受けた為、橋が倒壊した。

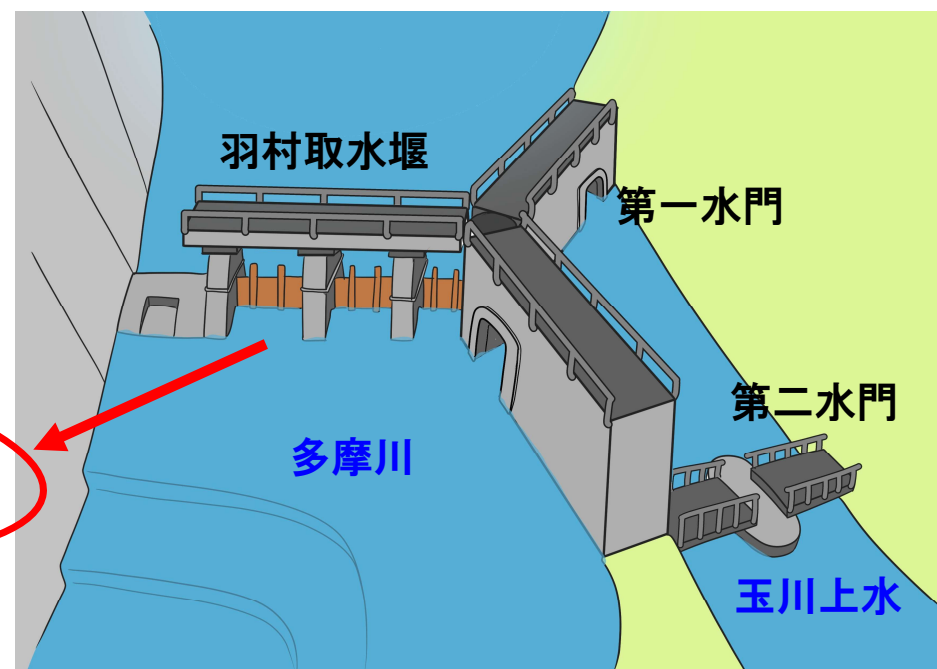
## 釣堀池



釣堀池全域に土砂が堆積し撤去作業に数日を要した

# 羽村取水堰＝投渡堰（なげわたしぜき）について

羽村取水堰の構造→370年前から続く「投渡木(なぎ)払い方式」



〔投渡木（なぎ）〕  
丸太を縦横に組み重ね、その隙間に小枝や砂利を詰めている



# 投渡木がはらわれた状態







取水口



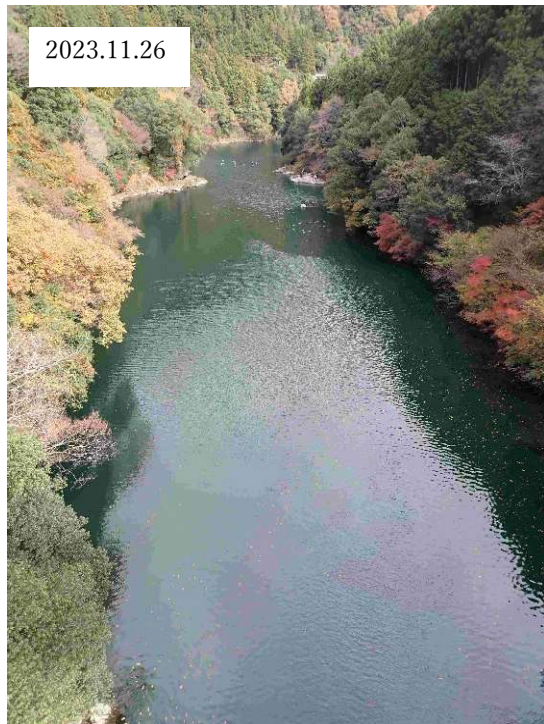
# ダムからの放水および取水の影響

治水利用のためにダムから長期間、約40tの放水が継続される

- ① 予測できない水位の変化 → 水難事故が多発する
- ② 羽村取水堰の下に土砂が堆積 → 江戸前アユの遡上が難しい
- ③ 堆積した土砂による河川の氾濫 → 地域住民が懸念
- ④ 羽村取水堰の投渡木を壊すたび → 高額な造成費用が必要

# 【白丸湖の抜水変化】

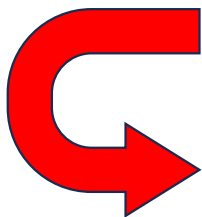
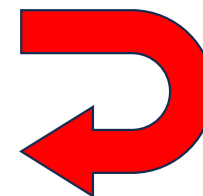
数馬峡橋より下流撮影





## 白丸調整池ダム抜水による環境被害について

エコっと白丸より撮影





## 【2023.12被害状況】 青梅市御岳



黒く破れた腐葉土の葉や白いシルク状の泥が無数に絶えず流れて沈殿している。





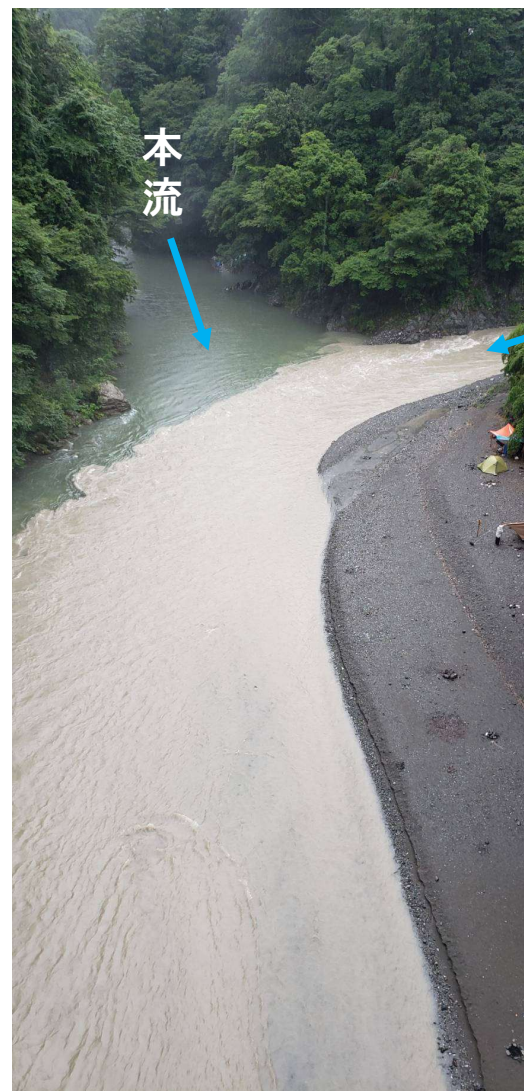


## 【日原川】支流 白濁水の被害状況



【合流して本流へ】

清流と白濁水が混ざり下流へと濁った水が流れて白丸ダムに溜まっていく。



日原川

昭和橋より  
上流撮影